

年代	時代区分	日本の主な出来事	甲賀郡に関する出来事	貴生川遺跡調査成果		
				H25	H26.8	H27.1
300年 400年 500年 600年	古墳	248年頃 卑弥呼死す 前方後円墳が各地にさかんに 築造される	泉古墳群が造られる 植遺跡の集落が形成される	■ 竪穴住居	■ 区画溝・掘立柱建物(Ⅰ期)	■ 区画溝・掘立柱建物(Ⅱ期)
60初 継体大王即位						
700年	飛鳥	645年 大化の改新(乙巳の変) 667年 近江大津宮へ遷都	742年 紫香楽に離宮を造る	■ 土壌墓・掘立柱建物	■ 区画溝・掘立柱建物(Ⅰ期)	■ 区画溝・掘立柱建物(Ⅱ期)
	奈良	710年 平城京へ遷都				
800年	平安	794年 平安京へ遷都	886年 阿須波道が開かれる 春日北遺跡で緑釉陶器が 焼かれる	■ 城館	■ 区画溝・掘立柱建物(Ⅰ期)	■ 区画溝・掘立柱建物(Ⅱ期)
1200年		鎌倉				
1300年	室町	1336年 足利尊氏が征夷大將軍となる	1285年 最勝寺の宝塔が建てら れる この頃、西福寺の宝篋印塔が建 てられる	■ 城館	■ 区画溝・掘立柱建物(Ⅰ期)	■ 区画溝・掘立柱建物(Ⅱ期)
1400年 1500年		1467年 応仁の乱が勃発 1568年 織田信長が上洛開始				
1600年	江戸	1576年 安土城築城開始	1570年 六角氏石部城に入城 (元龜争乱) 1581年 織田信長の伊賀攻めに甲 賀衆が参加 1585年 甲賀郡中惣解体 1600年 水口岡山城解体	■ 城館	■ 区画溝・掘立柱建物(Ⅰ期)	■ 区画溝・掘立柱建物(Ⅱ期)
		1582年 本能寺の変 1584年 小牧・長久手の戦い				
		1600年 関ヶ原の戦い				



貴生川遺跡関連年表(上)・調査地位置(下:1/1,500)

貴生川遺跡発掘調査現地説明会資料 No.3

平成27(2015)年1月24日(土) / 甲賀市教育委員会
公益財団法人滋賀県文化財保護協会



調査の概要

公益財団法人滋賀県文化財保護協会では、甲賀市教育委員会からの依頼で土地区画整理事業に伴い、甲賀市水口町貴生川に所在する貴生川遺跡の発掘調査を平成25年度から実施しています。平成25年度調査では古墳時代の竪穴住居、平安時代末から鎌倉時代の掘立柱建物・土壌墓等を、今年度は8月に一辺半町(約50m)の堀と土塁で囲まれた、方形の戦国時代の城館がみつき公開をしました。

今回は、平安時代末から室町時代にかけての溝で建物や屋敷地を区画する集落がみつかりました。



◆調査地南側全景(南より)

写真手前に掘立柱建物5~8、区画溝7~9、柵1~3がみえます。左奥にみえているのが岩根山です。



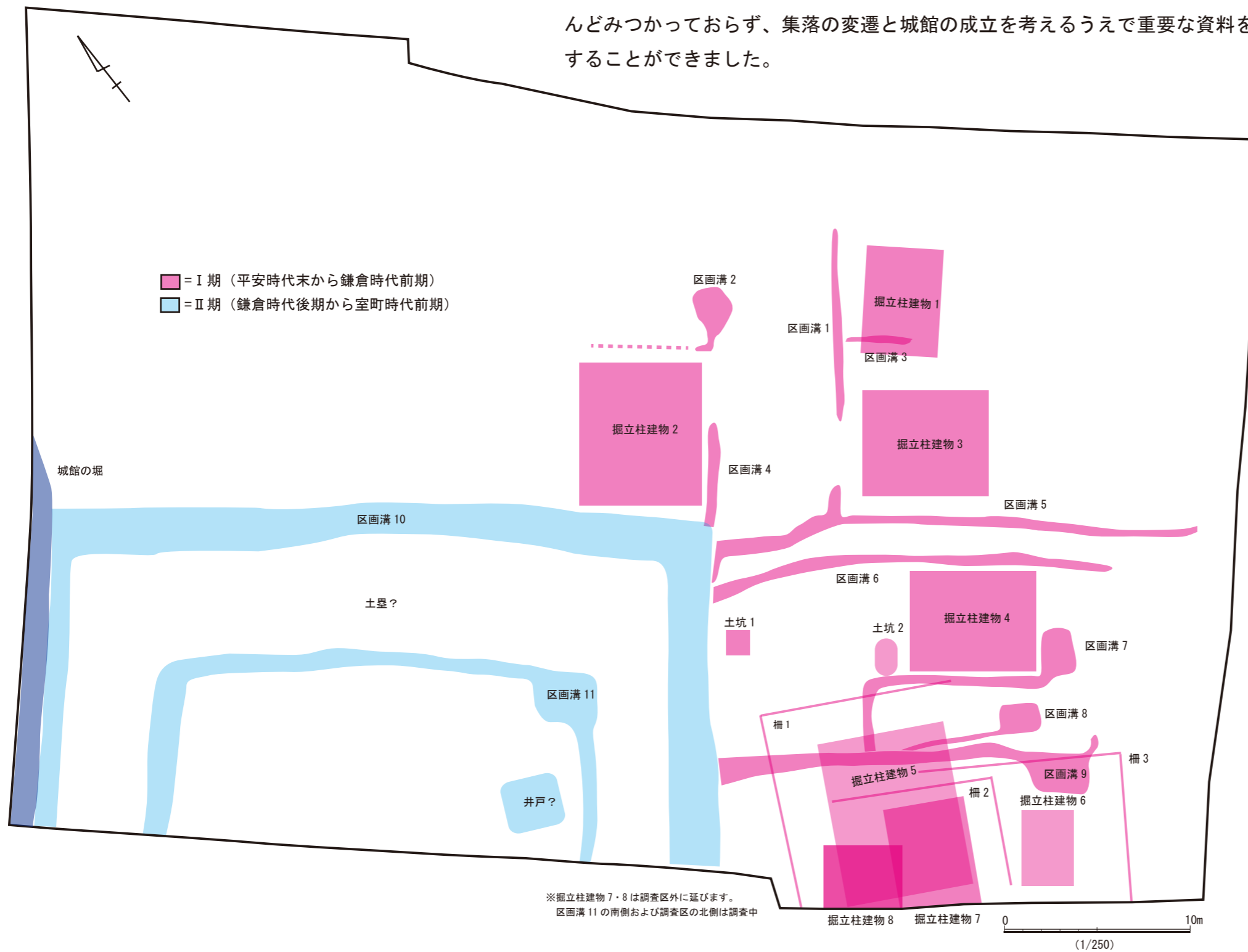
◆区画溝10 遺物出土状況：区画溝10はⅡ期の屋敷地を区画する大溝で幅2.5m、深さ70cmを測る。東の隅から瓦器（がき）の椀と土師器の皿が折り重なるようにみつかっています。

調査の成果

今回の調査では、城館が作られる以前の集落を確認することができたことが大きな成果です。平安時代末から室町時代前半にかけて機能していた集落で、その在り方から大きく2時期に分けることができます。

平安時代末から鎌倉時代前半期（Ⅰ期）は、個々の建物を小さな溝（幅50cm程度）で区画し、それが複数確認できます。鎌倉時代後半から室町時代前半期（Ⅱ期）は大きな溝（幅2.5m、深さ60cm程度）で約35m四方（復元）を区画し、その内部に建物を建てていたようです。

甲賀市域ではこの時代（鎌倉時代を中心とした時期）の様子が見られる集落はほとんどみつかっておらず、集落の変遷と城館の成立を考えるうえで重要な資料を提供することができました。



◆区画溝9：3×2.5m、深さ60cmの規模の土坑に幅80cm、深さ30cmの溝が取りついています（写真上）。漆器は土坑部の最下層から出土しています（写真下）。



◆掘立柱建物3：3×3間（約7×5m）の建物で北側に庇がついています。



◆掘立柱建物7柱痕遺物出土状況：柱穴から青磁の椀が出土しています。